

青パト活動を応援する情報発信マガジン

ビッグ★ブルー

第1号・創刊号

平成25年1月21日発行

発行：山形県警察本部

青パトは市民に定着、農作物盗難予防にも効果大 尾花沢市防犯協会

これまで、私たちの防犯活動は、こどもの登下校時の安全確保、防犯診断、防犯標語やポスターの募集、防犯看板の設置、協会員研修等を中心に展開し、また、帽子、腕章、ジャンパーなどの活動資機材の整備にも力を注いできました。ところが、振り込め詐欺などの新たな犯罪が市民生活を脅かすようになり、更に、尾花沢名産の西瓜の大量盗難事件が発生するなど、私たちの防犯活動に警鐘が鳴らされたのです。

平成19年の防犯協会総会后、尾花沢警察署刑事生活安全課の係長から防犯活動についての講話があり、そこで「他署管内では夕暮れや夜間の防犯活動に青パトを導入して大きな成果を挙げている」と聞き、私たちは大きな驚きを受けました。早速、青パトを導入すべく、警察や市の支援を受け、青パト従事者研修会の開催や青色回転灯の購入準備などに取り掛かりました。すると、折良く、奉仕団体から青色回転灯10個を寄付していただき、私たちに力を与えてくれました。そして、5地区の公民館、防犯協会事務局、各支部長の車を青パトとして申請・認定を受け、合わせて、広報活動用の広報機材を各公民館の車に登載して広報力を高めて活動を開始し、現在、12台の青パトが防犯活動に活躍しています。



尾花沢名産の西瓜を守るため、農家からも期待される青パト活動



行距離が日増しに伸びています。

7月から8月は、尾花沢西瓜の出荷最盛期です。各支部では、夏の安全県民運動に合わせて、青パトを活用した農作物盗難予防運動を活発に展開しています。その結果、西瓜盗難事件は年々減少し、昨年は1件に抑え込むことができ、青パトの確かな効果を実感しています。

現在、青パトは、すっかり市民に定着し、各季の県民安全運動のほか、警察や市からの要請による緊急防犯広報、大型スーパーなどでのチラシ配布や声かけ運動、こどもの登下校時における挨拶運動や見守り活動など、幅広い防犯活動に引っ張りだこの状態となっており、運

(文～尾花沢市防犯協会 会長 鈴木 勲)

【編集後記】「ビッグブルー」の創刊号はいかがでしたか？これから、青パト団体をつなぐ機関誌として発行していきますので、よろしくお願いいたします。次号の団体紹介は「寒河江市防犯協会寒河江支部」の予定です。

【山形県内の青パト情勢】
(平成24年12月末現在)
青パト団体数：80団体
青パト台数：971台

【発行担当】山形県警察本部生活安全部生活安全企画課 TEL023-626-0110 (内3023)